

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
267	遺家族等援護事業	01	一般会計		
		03	民生費		
基本施策	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	01	社会福祉費	
			01	社会福祉総務費	
担当部課名	大山田支所 健康福祉課		細目	104	遺家族等援護事業
作成者氏名	川合 文秀	連絡先	47-1151(内線220)	細々目	01
					遺家族等援護事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	遺族会及びその会員	会員の福祉の増進を支援し、会員相互の交流を図る		
本年度事業内容	遺族会補助金(H. 18年度から本庁予算) 地区慰霊祭参拝			
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
	事業費(B)	282	6	6
②支出内訳(千円)	消耗品	2	6	6
	補助金	280		
	合計(A+B)	1,002	726	726
	③財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	
		地方債		
		受益者負担		
		その他特財		
	一般財源	1,002	726	726
上記①～③に関する特記事項				
18年度から遺族会補助金は本庁予算				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
遺族会の運営補助金	千円	280	—	—			
地区慰霊祭供物料	千円	2	6	6			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
遺族会の事業実績報告及び決算報告	事業実績報告の実施回数や参加人数	円	280,000 目標 ()	—	—
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

18年度から伊賀市で一本化となる

評価	必要性	4	遺族に対する事務のうち、弔慰金事務等が必要となる	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		A
	効率性	3		